

## 索引(科目名50音順)

ア	アントレプレナーシップ演習A……………	14
	アントレプレナーシップ演習B……………	19
	アントレプレナーシップとイノベーション…	1
	アントレプレナーシップと社会問題……………	4
	アントレプレナーシップと戦略……………	7
	アントレプレナーシップと組織……………	10

科目名	アントレプレナーシップとイノベーション						
英語科目	ナンバリング	GHeps104					
開講期	秋学期	開講学部等	共通教育科目	配当年次	1年次	単位数	2単位
教員名	岩本 誠吾, 蚊野 浩, 川上 雅弘, 河北 秀世, 具 承桓, 佐川 英夫, 平井 重行, 宮森 恒, 安田 豊						

### 授業概要／Course outline

デジタル化やDXなどが盛んに言われている時代。これまで新しい技術の登場・普及は社会や生活を一変させた。本授業では取り上げる最新技術の基礎的な理解を含めてその利活用の現状を学んだうえ、ビジネスへの応用可能性を探索することを目的とする。それで、近年、ホットな未来技術とも言われる技術領域を取り上げ、技術そのものの理解は最小限に留めながら、現実の世界における当該技術の活用とその事例に重点をおき、未来のビジネスへの応用可能性について文理の壁を越えて考え、学べる。具体的には、未来イノベーションの中心となるデジタル技術を中心としたAI、ロボット、ドローンをはじめ、バイオサイエンス、気象、宇宙に関連する最新技術の利活用とその方向性について解説しつつ、イノベーションの可能性を開拓してみる。

また、本科目は次の3つの基礎科目「アントレプレナーシップと戦略、アントレプレナーシップと組織、アントレプレナーシップと社会問題」および応用科目「アントレプレナーシップ演習A・B」をあわせて受講する

### 授業形態、授業方法等／Course form・type

#### 【授業形態】

対面授業

#### 【授業方法】

講義

- ・アクティブ・ラーニング授業（形態：ディスカッション、ディベート／グループワーク）  
この授業は、授業内で履修者同士のグループワーク・ディスカッションを取り入れながら進める。
- ・ICTを活用した授業（形態：クリッカー、タブレット端末、スマートフォン等を活用した双方向型授業）  
主体的に、WEBを調べたり作業を行ったりすることがある。

### 授業内容・授業計画／Course description・plan

#### 第1回 インTRODクシヨン【具承桓】（9月22日5時限）

市場とニーズ、未来の技術について簡単に紹介しつつ、それぞれの関連性と俯瞰的な思考の重要性について説明したうえ、授業の構成と進め方について説明する。

#### 第2回 AIの先端事例と技術事情【宮森恒】（9月29日）

起業等での新サービス立ち上げに際して、機械学習や深層学習（俗に言うAI）を扱う際の概要や注意点についての理解を深める。事前オンデマンド講義では、深層学習の先端事例と展望を紹介の上、AIを活用する際に必要となる処理技術、データ、エンジニア、コスト、注意点について概説する。指定された事前課題に取り組んだ上で、授業当日は、グループワークを通して事前講義の内容をより深く理解する。反転授業として実施する。

#### 第3回 クラウド利用とソフトウェア開発事情【安田豊】（10月6日5時限）

ソフトウェア関連技術（スマートフォンアプリやWebサービスなど）を伴う起業が今後ますます増えることが想定できる。そこで、それら技術をビジネスに組み込む際に理解しておくべき、インターネット・クラウドサービス利用やソフトウェア開発の要点、オープンソースソフトウェアの位置付け、プログラマの雇用などについて社会的事情を概説する。

#### 第4回 ロボット・自動化技術の社会実装と展望（森山和道氏・外部講師）【平井】（10月13日5時限）

産業用ロボットや自動運転車などに始まる様々なロボット・自動化技術は、工業分野のみならず、農林水産業や流通・小売業のほか、オフィスビルや飲食店など一般人が仕事・生活の場面に至るまで様々な場面で導入が進み、製品が発売されるに至っている。それらロボット技術の導入事例を紹介すると共に、人とロボットとの共生社会や、省力化・効率化に基づく事業・社会の変化、今後の技術導入の展望などについて概説する。

#### 第5回 デジタルファブリケーションとハードウェア開発（1）（越智岳人氏・外部講師）【平井】（10月20日5時限）

IoT製品やガジェット製品、それらを扱うサービスを展開する場合には、ハードウェア開発を必要とする場面が増える。ここでは、そういったモノづくりを伴うハードウェアスタートアップの起業事例を紹介し、モノづくりの事業化に関する内容について概説する。具体的には、デジタルファブリケーション機器（3Dプリンタやレーザー加工機など）の活用や、モジュール化された電子パーツの活用による試作、ハードウェア開発とソフトウェア開発の違い、資金集めや技術支援サービスの活用などについて説明する。

第6回 デジタルファブリケーションとハードウェア開発（2）（越智岳人氏・外部講師）【平井】（10月27日5時限）

IoT製品やガジェット製品、それらを扱うサービスを展開する場合には、ハードウェア開発を必要とする場面が増える。ここでは、そういったモノづくりを伴うハードウェアスタートアップの起業事例を紹介し、モノづくりの事業化に関する内容について概説する。具体的には、デジタルファブリケーション機器（3Dプリンタやレーザー加工機など）の活用や、モジュール化された電子パーツの活用による試作、ハードウェア開発とソフトウェア開発の違い、資金集めや技術支援サービスの活用などについて説明する。

第7回 最先端デジタル技術とビジネス【蚊野浩】（11月1日5時限）

XR（VR/AR/MR）や、メタバース、3D映像技術などの最先端デジタル技術に基づくサービス・製品の事業化や技術の動向について紹介し、今後のデジタル技術や、その活用・応用について展望を述べる。

第8回 エンジニアのスキルと人材【平井】（11月10日5時限）

スマートフォン活用や、IoTデバイス・ロボットの開発・導入、AI開発、インターネット・クラウドサービスの利用など、それらにはプログラマやエンジニアの存在が不可欠となる。ここでは、デジタルファブリケーションや電子工作、ソフトウェア開発、ネットワーク・サーバなどITインフラ構築、AIやデータ分析などの様々な技術的業務に関するエンジニアのスキルについて述べる。起業の際に必要なIT関連技術分野とエンジニアのスキルとの関係について概説する。

第9回 ドローンと社会【岩本 誠吾】（11月17日5時限）

ドローンに対する社会の制度制約（国際比較）を学んだうえで、具体的な導入事例（物流、安全予防、山林管理、離島支援、軍用など）から具体的な活用事例を通じて、新しいビジネスの仕組みと技術の融合の可能性を考えてみる。

第10回 未来と気象関連産業（1）【佐川 英夫】（11月24日5時限）

Global Heatingとも言われる地球温暖化の加速化、それによる異常気象問題を踏まえ、気象に関するニーズは安全問題と食糧危機問題につながる。関連ビジネスの実態と利活用可能な技術と、未来のイノベーションへの可能性と方向性について考える。

第11回 未来と気象関連産業（2）【佐川 英夫】（12月1日5時限）

Global Heatingや異常気象問題の現状を踏まえ、気象関連ビジネスの実態と利活用可能な技術と、未来のイノベーションへの可能性と方向性について学ぶ。

第12回 未来と宇宙産業ビジネス（1）【河北 秀世】（12月8日5時限）

最後のフロンティア、宇宙？ 宇宙産業とは、多様なビジネスの可能性と現在の取組について学ぶ。

第13回 未来と宇宙産業ビジネス（2）【河北 秀世】（12月15日5時限）

宇宙産業ビジネス（人工衛星、宇宙ゴミ、宇宙インターネット、ビックデータなど）を可能とする技術の利活用の現状と更なる可能性について考えてみる。

第14回 バイオサイエンス【川上雅弘】（12月22日5時限）

バイオ技術の現状と活用事例、その応用可能性

第15回 総括【具承桓】（1月12日5時限）

まとめと発表、評価

準備学習等（事前・事後学習）／Preparation and assignments

第1回

〔事前学習〕各テーマ内容において自分で関心がある分野が何かについて考える。

〔事後学習〕事前にインターネットや関連書籍を通じて基礎的な概念について調べてみる。

事前学習・事後学習に4時間必要になる

第2回

〔事前学習〕授業日までにオンデマンド講義を受講した上で、その中で課される事前課題に対し、自分のアイデアをまとめておく。

〔事後学習〕授業で取り上げた技術の特色と利活用の現状、議論した内容を復習した上で、指定日までにレポートを提出する。事前学習・事後学習に4時間必要になる。

第3～14回

〔事前学習〕該当テーマについて、書籍やインターネット等で下調べをして、技術の特徴や使い道などについて調べ

て整理しておく。

[事後学習]各テーマで取り上げる技術の特色と利活用の現状を復習したうえで、多様な社会問題とリンクしてその解決策に、どのような活用・応用可能性があるかについて探索してみる。

事前学習・事後学習に4時間必要になる。

#### 第15回

[事前学習]各テーマで取り上げた技術を活用したビジネスの事例を話し合ってみよう。

[事後学習]各テーマで取り上げる技術の特色と利活用の現状を復習したうえで、多様な社会問題とリンクしてその解決策に、どのような活用・応用可能性があるかについて探索してみる。

事前学習・事後学習に4時間必要になる。

#### 授業の到達目標/Expected outcome

本授業ではビジネス革新やビジネスモデルの創出に活用できる最新の技術やイノベーションについて、そしてその利活用の現状を学びつつ、社会問題を踏まえビジネスに活用できる可能性を探ることを目的とする。起業プランと活用中な技術を選定し、起業プラン作成の具現化と精緻化を図れる能力を養う。

#### 身につく資質・能力/Competencies to be attained

思考力

幅広い教養

#### 履修上の注意/Special notes, cautions

起業やベンチャー、事業継承、ビジネスなどの興味を持っていること

#### 評価方法/Evaluation

各回ごとに、担当教員が評価を行い、集計し、総合的に評価します。各授業ごとの評価は少し異なる場合があるが、主に授業への参加態度40%、レポート及びクイズまたは試験60%で評価します。

#### 教材/Text and materials

必要に応じて授業内で案内もしくは配布する。あるいは、Moodleにて掲示する。各自ダウンロードしてください。

#### 質問や相談の方法/Instructor contact

質問や相談内容があれば、できる限りその授業内もしくは授業の終了後に行ってください。授業全体に関する質問などにおきましては、総括教員である具まで連絡してください。連絡先はMoodleにて掲示します。連絡の際には、必ず履修科目名、所属各部・学科、学籍番号、名前を名乗ってから訪ねてください。

#### その他/Others

本科目は、リレー講義形式の授業である。

科目名	アントレプレナーシップと社会問題				
英語科目		ナンバリング	GHeps103		
開講期	春学期集中	開講学部等	共通教育科目	配当年次	1年次
教員名	井口 衛, 伊吹 勇亮, 植原 行洋, 大杉 卓三, 功刀 祐之, 具 承桓, 澤井 志保, 三瓶 由紀, 菅原 宏太, 成田 智恵子, 濱野 強				
				単位数	2単位

### 授業概要／Course outline

グローバルな観点から、日本社会や国際社会が抱えている社会問題の現状と実体を理解したうえで、その解決のためにはどのようなニーズが存在しており、どのような取り組みが必要になるかについて学び、考える。市場で欲しいもの、欲しがらるもの、あったらよいもの、困っていることやものを考え、ニーズや解決の糸口を探り、ビジネスモデルの立案の出発点となるニーズの探索とアイデアの創造に繋げたい。

主な内容な少子高齢化、多様性のある社会づくり、地方創生、中小企業と事業継承、観光立国と観光都市京都、食農危機、持続可能な農業と食ロス問題、ESG経営とリサイクル、新しいモバイル経済時代の消費者、新モビリティとCASE革命などをめぐる多様な問題を話題として提供する。また、本科目は次の3つの基礎科目「アントレプレナーシップと戦略」、「アントレプレナーシップと組織」、「アントレプレナーシップとイノベーション」および応用科目「アントレプレナーシップ演習A」「アントレプレナーシップ演習B」をあわせて受講することが望ましい。

### 授業形態、授業方法等／Course form・type

#### 【授業形態】

対面授業

#### 【授業方法】

講義

- ・アクティブ・ラーニング授業（形態：ディスカッション、ディベート／グループワーク）

この授業は、授業内で履修者同士のグループワーク・ディスカッションを取り入れながら進める。

- ・ICTを活用した授業（形態：遠隔教育（ビデオ・オン・デマンド等））

第3回目の日本社会の問題と課題（2）【菅原】と、第7回目のグローバル化と地域企業・社会（2）【植原】（5月24日3時限）はオンデマンド授業となりますので、Moodleを確認して受講してください。

### 授業内容・授業計画／Course description・plan

#### 第1回. 市場とニーズ、その変化、探索【具】（4月13日5時限）

日本を含め、グローバル次元から、欲しいもの、欲しがらるもの、あったらよいもの、困っていることやものを考え、ニーズや解決策を探る。たとえば、企業、個人、官庁、お店、学生、病院、町等々における人の行動や流れ、日常生活に潜んでいる問題からニーズを具現化してみる。また、因果関係図やフィッシュボーンの使い方を学び、論理的な思考回路形成方法について説明する。

#### 第2回. 日本社会の問題と課題（1）【澤井】（4月20日5時限）

多様性（ダイバシティ）のある社会づくりと外国人労働者の現状・問題、そしてこれらの問題へ取り組みを学びつつ、解決の糸口を考える。

#### 第3回. 日本社会の問題と課題（2）【菅原】（4月26日3時限）【オンデマンド授業】

高齢化少子化による社会変動と課題を踏まえ、とりわけ地域の財政悪化と所得格差、そして地域消滅などの現状を統計データから読み取り、現状を把握する。その上、地域活性化の一環としての農業・農村部が抱えている問題と課題について考える。

#### 第4回. 日本社会の問題と課題（3）【功刀】（5月6日5時限）

観光立国とそのビジネス、そして課題について考える。とりわけインバウンド重視の観光ビジネスを行う際、入国から出国までの観光産業の課題について理解しつつ、観光都市京都の観光ビジネスの課題について顧客の観点から探索してみる。

#### 第5回. 日本社会の問題と課題（4）【成田】（5月11日5時限）

地方の現状から地方創生は可能なのか？ 地域活性化と魅力ある京都づくり、伝統産業の現状と問題などを中心に地域創生や活性化に関するニーズを考える。

#### 第6回. グローバル化と地域企業・社会（1）【井口】（5月18日5時限）

日本のファミリビジネスの現状と課題、とりわけ中小企業における事業継承問題を中心に扱う。そして事業継承とそのプロセスに潜んでいる多様な問題は何か、持続可能で競争力のある企業になるための解決策はあるのかについて考える。

第7回. グローバル化と地域企業・社会(2)【植原】(5月24日3時限)【オンデマンド授業】

グローバル化とイノベーションの時代における中小企業の現状と課題(機能伝承, 人材確保, デジタル化, 持続可能なビジネスなど)

第8回. グローバル化と地域企業・社会(3)【三瓶】(6月1日5時限)

グローバル化と産業化・都市化の進展するにつれ, 食糧不足が懸念される。食農危機の本質はなにか。農作物の生産や消費、社会経済の循環の現状と問題について考える。

第9回. グローバル化と地域企業・社会(4)【三瓶】(6月8日5時限)

持続可能な農業と食ロス問題の現状と改善の取組について解説しつつ, そして解決の糸口としてバイオサイエンスの活用案を探る。

第10回. ESG経営(1)【大杉】(6月15日5時限)

ESG経営とカーボンニュートラル社会となにか。なぜ重要であるのか。企業の取り組みとビジネスの可能性について学ぶ。

第11回. ESG経営(2)【大杉】(6月22日5時限)

ESG経営とリサイクル問題(プラスチックゴミと廃棄家電, デジタル機器, 電池など)などを取り上げ, 具体的な実例を通じてESG経営や環境経営について学ぶ。

第12回. モバイル経済と広告【伊吹】(6月29日5時限)

モバイル時代のコマースの変化と消費者の行動様式の変化について考える。具体的な事例などを用いて現代の広告のやり方と将来の変化可能性について考える。

第13回. 100年人生と健康, スポーツビジネス【濱野】(7月6日5時限)

ひとはどのように健康を保ち, 楽しみ, 遊ぶのか? 健康やスポーツの科学化, 余暇のビジネス化の現状と更なる可能性を探る。

第14回. 次世代の交通革命と社会【具】(7月13日5時限)

現在, CASE革命, EV, 水素自動車, 空飛ぶ自動車などによる新モビリティ時代の到来するにつれ, 社会の変化の方向性とビジネスの変化について考えてみる。

第15回. 総括【具】(7月20日5時限)

発表とまとめ

準備学習等(事前・事後学習) / Preparation and assignments

第1回

[事前学習] 各テーマ内容において自分で関心がある分野が何かについて考える。また, 因果関係図やフィッシュボーンの使い方について調べる。

[事後学習] 因果関係図やフィッシュボーンの使い方を練習してみよう。また, あるデータが閲覧可能なサイトや検索する際の関連検索語がなにかを気にする習慣を身につける。

事前学習・事後学習に4時間必要になる

第2~14回

[事前学習] 該当テーマについて, 書籍やインターネット等で下調べをして, 自分の考えや疑問について整理しておく。

[事後学習] 各回の授業で学んだ現状や問題を因果関係図やフィッシュボーンなどを使って整理し, どのようなニーズがあるのかについて探求する。

事前学習・事後学習に4時間必要になる

第15回

[事前学習] 各テーマについて振り替え, 現状, 諸問題とそれらの関係, その背景と原因についてまとめてみる。

[事後学習] これまでのテーマの中で最も関心のあるテーマを取り上げて, 現状(問題), 原因, 解決のための取組, 可能な解決策などを考えまとめる。

事前学習・事後学習に4時間必要になる

授業の到達目標 / Expected outcome

グローバルおよび日本社会の問題の現状を総合的に理解し, その問題の根本的な原因と現状の問題を俯瞰的な観点から, 因果関係の探索ができるようになる。これを通じて様々な社会的な問題を表面的な形ではなく, その本質を見極める能力を養いつつ, 解決のための糸口を主体的に発案する。

<b>身につく資質・能力／Competencies to be attained</b> 思考力 幅広い教養	
<b>履修上の注意／Special notes, cautions</b> 各テーマについて主体的に調べ、考え、問題の本質を究明しようとする姿勢、そして解決のための方法としては何かあるかについて能動的・主体的に考える態度と姿勢を求める。また、起業やベンチャー、事業継承、ビジネスなどの興味を持っていること。	
<b>評価方法／Evaluation</b> 各回ごとに、担当教員が評価を行い、集計し、総合的に評価します。各授業ごとの評価は少し異なる場合があるが、主に授業への参加態度40%、レポート及びクイズまたは試験60%で評価します。	
<b>教 材／Text and materials</b> 必要に応じて授業内で案内（Moodleなど）もしくは配布、掲示する。各自ダウンロードしてください。	
<b>質問や相談の方法／Instructor contact</b> 質問や相談内容があれば、できる限りその授業内もしくは授業の終了後に行ってください。授業全体に関する質問などにおきましては、総括教員である具まで連絡してください。連絡先はMoodleにて掲示します。連絡の際には、必ず履修科目名、所属各部・学科、学籍番号、名前を名乗ってから訪ねてください。	
<b>その他／Others</b> 本科目は、リレー講義形式の授業である。	



科目名	アントレプレナーシップと戦略						
英語科目	ナンバリング	GHeps102					
開講期	秋学期	開講学部等	共通教育科目	配当年次	1年次	単位数	2単位
教員名	具 承桓						

#### 授業概要／Course outline

デジタル化とグローバル化の時代におけるビジネスモデルとその特徴、手法などを学習することが主題である。新興国を中心に展開されているビジネスモデルから示唆を得て、そのうえで、ビジネスアイデアを具体的なビジネスモデルとビジネスデザインにつなげる構想の練習をおこなう。ビジネスモデルの創出、および精緻化のための基盤知識と経験を身につける。

また、本科目は次の3つの基礎科目「アントレプレナーシップと組織、アントレプレナーシップと社会問題、アントレプレナーシップとイノベーション」および応用科目「アントレプレナーシップ演習A・B」をあわせて受講することが望ましい。

#### 授業形態、授業方法等／Course form・type

##### 【授業形態】

対面授業

##### 【授業方法】

講義

・アクティブ・ラーニング授業（形態：ディスカッション、ディベート／グループワーク／プレゼンテーション）

授業内で決められたテーマに沿ってグループごとで調査をおこない、結果をプレゼンテーションする。プレゼンテーションにともなって受講生全体でディスカッションをおこなう。

#### 授業内容・授業計画／Course description・plan

1回目：イントロダクション（9月21日5時限）

授業をどのように進めていくのか、どのように成績を評価するのかについて説明する。

2回目：デジタル時代と企業戦略(1)（9月28日5時限）

補完と代替、競争戦略と5F分析、企業間連携など、経営戦略論の基礎について学ぶ。また、AI、ビックデータ、データサイエンス、Society5.0、CASE革命、スマートファクトリー、クラウドビジネスなど、近年のテクノロジーと社会トレンドのメインストリームを第2回の内容と結びつける。

3回目：デジタル時代と企業戦略(2)（10月5日5時限）

補完と代替、競争戦略と5F分析、企業間連携など、経営戦略論の基礎について学ぶ。また、AI、ビックデータ、データサイエンス、Society5.0、CASE革命、スマートファクトリー、クラウドビジネスなど、近年のテクノロジーと社会トレンドのメインストリームを第2回の内容と結びつける。

4回目：プラットフォームビジネスの特徴と可能性（10月12日5時限）

プラットフォームビジネスの定義と基本的な中核概念、その多様性について学ぶ。

5回目：プラットフォームビジネスとその事例（10月19日5時限）

事例からみる重要な事項および着観点について学ぶ。

6回目：プラットフォームビジネス事例分析の演習（10月26日5時限）

グループワークを通じてプラットフォームビジネスの実例と仕組みについて分析し、発表する。

7回目：海外の新しいビジネス事例(1)（11月2日5時限）

新興国、中国、東南アジア、世界のユニコーン企業の事例からビジネスモデルの特徴と仕組みを学ぶ。

8回目：海外の新しいビジネス事例(2)（11月9日5時限）

新興国、中国、東南アジア、世界のユニコーン企業の事例からビジネスモデルの特徴と仕組みを学ぶ。

9回目：海外の新しいビジネス事例分析の演習（11月16日5時限）

グループワークを通じて実際の企業を取り上げ、グループ発表を通じて、ビジネスモデルの仕組みとそこに潜んでいるプレイヤー間の関係、インセンティブを把握し、ビジネスモデルの特徴とメリットなどを引き出す。

10回目：ビジネスモデルのリニューアル(1)（11月30日5時限）



ビジネスモデルのメンテナンスと拡張、リニューアルについて考える。まず、事業継承問題と伝統産業の現状を踏まえつつ、現在のビジネスモデルの問題と課題について議論し、問題解決の可能性とその範囲について議論する。加えて、グローバル次元で京都が抱えている社会的問題を解決するための取り組みと問題、その解決の可能性について議論する。

1 1 回目：ビジネスモデルのリニューアル(2) (12月7日5時限)

ビジネスモデルのメンテナンスと拡張、リニューアルについて考える。まず、事業継承問題と伝統産業の現状を踏まえつつ、現在のビジネスモデルの問題と課題について議論し、問題解決の可能性とその範囲について議論する。加えて、グローバル次元で京都が抱えている社会的問題を解決するための取り組みと問題、その解決の可能性について議論する。

1 2 回目：ビジネスモデルのリニューアル(3) (12月14日5時限)

ビジネスモデルのメンテナンスと拡張、リニューアルについて考える。まず、事業継承問題と伝統産業の現状を踏まえつつ、現在のビジネスモデルの問題と課題について議論し、問題解決の可能性とその範囲について議論する。加えて、グローバル次元で京都が抱えている社会的問題を解決するための取り組みと問題、その解決の可能性について議論する。

1 3 回目：ビジネスアイデアと設計(デザイン) (12月21日5時限)

ニーズ、プロセスと考慮すべき事項、注意点などを学ぶ。

1 4 回目：ビジネスモデルの設計(デザインとリニューアル) 演習 (12月28日5時限)

発表、ディスカッション、論評(新規ビジネスモデルの設計または既存事業のリニューアルの提案)をまとめとしておこなう。

1 5 回目：ビジネスモデルの設計(デザインとリニューアル) 演習 (1月11日5時限)

発表、ディスカッション、論評(新規ビジネスモデルの設計または既存事業のリニューアルの提案)をまとめとしておこなう。

#### 準備学習等(事前・事後学習) / Preparation and assignments

各回、2時間の授業に対し事前・事後学習が4時間必要であることに留意して、事前・事後学習の時間を確保すること。

1 回目：イントロダクション

事前学習：moodleにアップされた資料の内容を確認し、予習しておいてください。

事後学習：授業の基本的な流れについて、復習するようにしてください。

2・3 回目：デジタル時代と企業戦略(1)(2)

事前学習：moodleにアップされた資料の内容を確認し、予習しておいてください。

事後学習：わかりにくいところ・理解度が低い部分の復習をしておいてください。

4 回目：プラットフォームビジネスの特徴と可能性

事前学習：moodleにアップされた資料の内容を確認し、予習しておいてください。

事後学習：わかりにくいところ・理解度が低い部分の復習をしておいてください。

5 回目：プラットフォームビジネスとその事例

事前学習：moodleにアップされた資料の内容を確認し、予習しておいてください。

事後学習：わかりにくいところ・理解度が低い部分の復習をしておいてください。

6 回目：プラットフォームビジネス事例分析の演習

事前学習：発表グループは準備し、早めに発表ファイルを共有してください。

事後学習：発表者は、質疑やフィードバックをふまえてレポートを作成し、論点を整理してください。

発表者でない人も、発表に対する自分の意見や考えを整理しておいてください。

7・8 回目：海外の新しいビジネス事例(1)(2)

事前学習：moodleにアップされた資料の内容を確認し、予習しておいてください。

事後学習：わかりにくいところ・理解度が低い部分の復習をしておいてください。

9 回目：海外の新しいビジネス事例分析の演習

事前学習：発表グループは準備し、早めに発表ファイルを共有してください。

事後学習：発表者は、質疑やフィードバックをふまえてレポートを作成し、論点を整理してください。発表者で

ない人も、発表に対する自分の意見や考えを整理しておいてください。

10～12回目：ビジネスモデルのリニューアル(1)～(3)

事前学習：moodleにアップされた資料の内容を確認し、予習しておいてください。

事後学習：わかりにくいところ・理解度が低い部分の復習をしておいてください。

13回目：ビジネスアイデアと設計(デザイン)

事前学習：moodleにアップされた資料の内容を確認し、予習しておいてください。

事後学習：わかりにくいところ・理解度が低い部分の復習をしておいてください。

14・15回目：ビジネスモデルの設計(デザインとリニューアル)演習

事前学習：moodleにアップされた資料の内容を確認し、予習しておいてください。

事後学習：わかりにくいところ・理解度が低い部分の復習をしておいてください。

#### 授業の到達目標/Expected outcome

アントレプレナーシップを得るための、ビジネスモデルや企業の実例に関する知識を獲得する。

#### 身につく資質・能力/Competencies to be attained

思考力

幅広い教養

#### 履修上の注意/Special notes, cautions

授業への主体的な参加が求められる。

#### 評価方法/Evaluation

授業内評価および発表、レポートなど60点、平常点(授業への参加度合いとディスカッションなど)40%とする。  
履修生者数により、評価方法の変更の可能性がある。

#### 教材/Text and materials

授業内で適宜指示する。

#### 質問や相談の方法/Instructor contact

連絡先 moodleに記載するメールアドレスに連絡してください。

授業に関する質問や相談がある場合は、授業時間及び上記時間に研究室に訪問するか、メールで質問すること。

●研究室：第四研究室棟1F(具)

●オフィスアワー 秋学期 木曜日 昼時間(12～13時)

#### その他/Others

特になし。

科目名	アントレプレナーシップと組織				
英語科目	ナンバリング	GHeps101			
開講期	春学期	開講学部等	共通教育科目	配当年次	1年次
教員名	伊藤 正隆, 木俣 由美, 久保 亮一, 具 承桓, シン ハヨン, 福富 言, 宮永 健太郎				

#### 授業概要／Course outline

本授業の目的は、「起業に必要となるマインドや知識、起業プロセスにおける組織関連のトピック、起業チームの動かし方や管理方法、ビジネスを実現するために必要な市場ニーズの探索と分析に関するマーケティングの諸概念」などを理解することです。事例や議論を通じて、これらのことを学びながら起業に関する基本的な知識を組織面から学んでいきます。

また、本科目は次の3つの基礎科目「アントレプレナーシップと戦略、アントレプレナーシップと社会問題、アントレプレナーシップとイノベーション」および応用科目「アントレプレナーシップ演習A・B」をあわせて受講することが望ましいです。

#### 授業形態、授業方法等／Course form・type

##### 【授業形態】

対面授業

##### 【授業方法】

講義

・アクティブ・ラーニング授業（形態：ディスカッション、ディベート／グループワーク）

この授業の一部では、授業内で履修者同士のグループワーク・ディスカッションを取り入れながら進めることがある。

#### 授業内容・授業計画／Course description・plan

- 1 イントロダクション【久保亮一】（4月7日5時限）  
ビジネスと起業、ベンチャー企業の役割や強み、アントレプレナーシップの定義、イノベーション
- 2 アントレプレナーシップ（1）【久保亮一】（4月14日5時限）  
ビジネスチャンス（事業機会）の発見と経営資源の活用
- 3 アントレプレナーシップ（2）【久保亮一】（4月21日）  
起業家の個人的特性
- 4 アントレプレナーシップ（3）【久保亮一】（4月28日5時限）  
ベンチャー企業の成長段階、日本と海外の先進事例
- 5 起業・事業化プロセスと資金調達【久保亮一】（5月12日5時限）  
資金調達の方法（VC、エンジェル、銀行、IPOなど）
- 6 ビジネスの持続性と管理指標【伊藤正隆】（5月19日5時限）  
組織の持続性、原価、管理指標、収益性など
- 7 組織を創る（1）【シンハヨン】（5月26日5時限）  
組織とチームビルディング、組織と個人、個人の能力を活かす（DiSC分析、16personalityなど）
- 8 組織を創る（2）【シンハヨン】（6月2日5時限）  
インセンティブとモチベーションの設計
- 9 組織を動かす（1）【久保亮一】（6月9日5時限）  
リーダーシップ論、コミュニケーションとメンバーの管理
- 10 組織を動かす（2）【宮永健太郎】（6月16日5時限）  
組織のミッション、企業倫理、社会的な責任
- 11 市場との対話（1）：マーケティング戦略【福富言】（6月23日5時限）  
ニーズ探索、3C、STP、ライフサイクル
- 12 市場との対話（2）：競争戦略【福富言】（6月30日5時限）

4P戦略, 消費者の行動, 普及曲線など

13 ビジネスと法律【木俣由美】(7月7日5時限)

企業設立の手続き, 会社法, 特許, 主要税金制度など

14 市場との対話(3): エコシステム【具承桓】(7月14日5時限)

外部組織との関係を視野に入れ, 価値連鎖と価値システムにおける競争と協同を考える

15 アントレプレナーシップとビジネスモデル【久保亮一】(7月21日5時限)

定義と多様性, 価値の共有, 収益構造, インセンティブ構造, 消費者の行動など。既存ビジネスの実例から顧客のニーズの探索と発見しつつ, ビジネスモデルについて分析

#### 準備学習等(事前・事後学習) / Preparation and assignments

この授業は、毎回トピックを変えながら、ベンチャー企業の組織面に関する体系的な知識を提供することを目的としています。本授業では、事前学習よりも事後学習に力を入れてほしいと思います。

##### 1 イントロダクション【久保亮一】

【事前学習】ベンチャー企業に対して各自が持つイメージを発表できるよう考えてくる

【事後学習】授業内容を復習する

事前学習・事後学習に4時間必要になる

##### 2 アントレプレナーシップ(1)【久保亮一】

【事前学習】興味のあるベンチャー企業1社を発表できるよう考えてくる

【事後学習】授業内容を復習する

事前学習・事後学習に4時間必要になる

##### 3 アントレプレナーシップ(2)【久保亮一】

【事前学習】ベンチャー企業が社会に与える影響について考えてくる

【事後学習】授業内容を復習する

事前学習・事後学習に4時間必要になる

##### 4 アントレプレナーシップ(3)【久保亮一】

【事前学習】海外に本籍をもつベンチャー企業1社を発表できるよう考えてくる

【事後学習】授業内容を復習する

事前学習・事後学習に4時間必要になる

##### 5 起業・事業化プロセスと資金調達【久保亮一】

【事前学習】実際に起業を考える際、どこから資金を調達するか考えてくる

【事後学習】授業内容を復習する

この授業は、毎回トピックを変えながら、ベンチャー企業の組織面に関する体系的な知識を提供することを目的としています。本授業では、事前学習よりも事後学習に力を入れてほしいと思います。

##### 1 イントロダクション【久保亮一】

【事前学習】ベンチャー企業に対して各自が持つイメージを発表できるよう考えてくる

【事後学習】授業内容を復習する

事前学習・事後学習に4時間必要になる

##### 2 アントレプレナーシップ(1)【久保亮一】

【事前学習】興味のあるベンチャー企業1社を発表できるよう考えてくる

【事後学習】授業内容を復習する

事前学習・事後学習に4時間必要になる

##### 3 アントレプレナーシップ(2)【久保亮一】

【事前学習】ベンチャー企業が社会に与える影響について考えてくる

【事後学習】授業内容を復習する

事前学習・事後学習に4時間必要になる

##### 4 アントレプレナーシップ(3)【久保亮一】

【事前学習】海外に本籍をもつベンチャー企業1社を発表できるよう考えてくる

【事後学習】授業内容を復習する

事前学習・事後学習に4時間必要になる

5 起業・事業化プロセスと資金調達【久保亮一】

【事前学習】実際に起業を考える際、どこから資金を調達するか考えてくる

【事後学習】授業内容を復習する

事前学習・事後学習に4時間必要になる

6 ビジネスの持続性と管理指標【伊藤正隆】

【事前学習】ベンチャー企業を評価する指標はどのようなものが適切なのかを考えてくる

【事後学習】授業内容を復習する

事前学習・事後学習に4時間必要になる

7 組織を創る(1)【シンハヨン】

【事前学習】ベンチャー企業の経営チーム(トップマネジメントチーム)の事例を調べてくる

【事後学習】授業内容を復習する

事前学習・事後学習に4時間必要になる

8 組織を創る(2)【シンハヨン】

【事前学習】ベンチャー企業で働く人々は何をやりがいにしているのかを考えてくる

【事後学習】授業内容を復習する

事前学習・事後学習に4時間必要になる

9 組織を動かす(1)【久保亮一】

【事前学習】ベンチャー企業の創業者はどのような人物なのかを考えてくる

【事後学習】授業内容を復習する

事前学習・事後学習に4時間必要になる

10 組織を動かす(2)【宮永健太郎】

【事前学習】ベンチャー企業が社会に対して果たす責任や意義について考えてくる

【事後学習】授業内容を復習する

事前学習・事後学習に4時間必要になる

11 市場との対話(1) : マーケティング戦略【福富言】

【事前学習】ベンチャー企業を1社選択し、どのようなニーズに対して製品やサービスを提供しているのかを考えてくる

【事後学習】授業内容を復習する

事前学習・事後学習に4時間必要になる

12 市場との対話(2) : 競争戦略【福富言】

【事前学習】ベンチャー企業を1社選択し、どのような4P戦略を採用しているのかを考えてくる

【事後学習】授業内容を復習する

事前学習・事後学習に4時間必要になる

13 ビジネスと法律【木俣由美】

【事前学習】起業する際の法的手続きには、どんなものがあるのかを考えてくる

【事後学習】授業内容を復習する

事前学習・事後学習に4時間必要になる

14 市場との対話(3) : エコシステム【具承桓】

【事前学習】ベンチャー企業を1社選択し、そのベンチャー企業のステークホルダー(利害関係者)がどのようなものなのかを考えてくる

【事後学習】授業内容を復習する

事前学習・事後学習に4時間必要になる

15アントレプレナーシップとビジネスモデル【久保亮一】

【事前学習】ベンチャー企業を1社選択し、どのようなビジネスの仕組みを採用しているのかを考えてくる

【事後学習】授業内容を復習する

事前学習・事後学習に4時間必要になる

授業の到達目標/Expected outcome

ベンチャー企業の組織面についての「理論」や「トピック・語句」に関する知識をつけ、ベンチャー企業に関わる経営事象を自分で理解できるようになること。また、応用科目「アントレプレナーシップ演習A・B」につながる素養を得ること。

**身につく資質・能力/Competencies to be attained**

思考力  
幅広い教養

**履修上の注意/Special notes, cautions**

ベンチャー企業に関わる経営現象に興味を持つこと。

**評価方法/Evaluation**

【評価】各回ごとに担当教員が評価を行い、集計し、総合的に評価します。各授業ごとの評価は、担当教員によって異なる場合があります。各回の代表的な評価方法を述べると、授業への参加態度40%、レポート・クイズ・試験などで60%です。

**教材/Text and materials**

授業に必要な資料などは、適宜、配布・提供します。

**その他/Others**

本科目は、リレー講義形式の授業です。



科目名	アントレプレナーシップ演習 A						
英語科目		ナンバリング	GHeps201				
開講期	春学期集中	開講学部等	共通教育科目	配当年次	2年次	単位数	2単位
教員名	沈 政郁, 中谷 真憲						

#### 授業概要／Course outline

アントレプレナーシップの本質は変化することであり、言い換えると実践することです。  
この授業では2つのアプローチで受講者の行動を促します。

1つ目は、外部講師との自由な質疑応答を通じ、起業／起業家のバックグラウンドを知り、またその刺激のもとに自分たちでもアイディエーションを試行してみることに挑戦します。

2つ目は、本をアクティブに読んで、そこにいろいろなものをつなげてアウトプットをする実践的な読書法を通じて、間接経験を完全に自分のものにする方法を学びます。

講義は【1回／2回】 【3回／4回】 【5回／6回】 【7回／8回】 【9回／10回】 【11回／12回】 【13回／14回】 【15回】と8回に分け、最終回以外は2コマ連続講義で実施されます。

1回から9回までが中谷、10回から15回までが沈の担当となります。

授業日は土曜日の1限と2限になります。

この授業は学生の「主体的で実践的な学び」に重点をおいたActive Learning（能動的学習）の一種となります。  
先進的な地域職能資格 GPM（Glocal Project Manager）の中核科目にもなります。

参照) <https://www.kyoto-su.ac.jp/faculty/ju/gpm.html>

参照) <https://glocalcenter.jp/students/gpm/>

学生はこの授業を通じて、本から世の中の課題やビジネスチャンスをつかめる思考方法を取得するとともに、企業や地域社会の実際を知り、Team workやLeadership、Schedule管理能力、Presentationの能力を身につけることが出来ます。なお、受講生は初回授業時に意欲を確認されます。

また、次の4つの基礎科目「アントレプレナーシップと戦略、アントレプレナーシップと組織、アントレプレナーシップと社会問題、アントレプレナーシップとイノベーション」をあわせて受講することが望ましいです。

#### 授業形態、授業方法等／Course form・type

##### 【授業形態】

対面授業

##### 【授業方法】

演習

・アクティブ・ラーニング授業（形態：ディスカッション、ディベート／グループワーク／プレゼンテーション）

4-5人でのGroup DiscussionやGroup Workで授業を行う。

GroupでのPresentationも行う。

#### 授業内容・授業計画／Course description・plan

第1回（土曜日1限）：ガイダンス：演習の流れの説明：①外部講師セクション ②Active Reading Section

・VUCA時代とPDCA／OODAについて、ideationの方法

・事前準備のアナウンスと班分け

第2回（土曜日2限）：Part 1：事前準備 外部講師のテーマに合わせた事前準備回：分野（業界）の動向、基本知識など

第3回（土曜日1限）：Part 1：外部講師A

ベンチャー／アントレプレナーの講師：型にはまらない、飾らないリアルな講義、および学生との質疑応答  
アイデア出しをしてもらうテーマの発表

第4回（土曜日2限）：Part 1：外部講師A 立案 (1) Ideation 1: ニーズ、トレンド、マーケット

第5回（土曜日1限）：Part 1：立案 (2) Ideation 2: 事業素案 Ver.01 の発表、質疑応答

第6回（土曜日2限）：Part 2：事前準備 外部講師のテーマに合わせた事前準備回：分野（業界）の動向、基本知

## 識など

第7回（土曜日1限）：Part 2：外部講師B  
NPO、第二創業、ベンチャー／アントレプレナー講師（Aと同じくリアルな講義と質疑応答）  
アイデア出しをしてもらうテーマの発表

第8回（土曜日2限）：Part 2：外部講師B 立案（1）Ideation 1：社会課題への切り口発見 or ニーズ、トレンド、マーケット

第9回（土曜日1限）：Part 2：立案（2）Ideation 2：解決策素案／事業素案 Ver.01 の発表、質疑応答

第10回（土曜日2限）：Active Reading（1）本の半分の内容に関してGroupで様々な角度から議論を行う

第11回（土曜日1限）：Active Reading（2）本の残りの半分の内容に関してGroupで様々な角度から議論を行う

第12回（土曜日2限）：Active Reading（3）Groupで解決してみたい課題を設定する（Research Question）

第13回（土曜日1限）：Active Reading（4）Groupで設定した課題をビジネスでの解決方法を模索する

第14回（土曜日2限）：Active Reading（5）Group発表

第15回（土曜日2限）：まとめ 総括：Part1とPart2についてのVer.02の発表

授業の予定：1/2回（5月13日）3/4回（5月20日）5/6回（5月27日）7/8回（6月3日）9/10回（6月10日）  
11/12回（6月17日）13/14回（6月24日）15回（7月1日）

## 準備学習等（事前・事後学習）／Preparation and assignments

\*\* 事前学習は各授業で2時間、事後学習も各授業で2時間必要である \*\*

\*\* これを踏まえて、しっかりと事前学習と事後学習を行うこと \*\*

### 第1回：ガイダンス

【事前学習】：シラバスとMoodleにUpされている資料を読んで参加すること

【事後学習】：授業で配布された資料を復習して完全に自分のものにしておくこと

### 第2回：Part 1：事前準備 外部講師のテーマに合わせた事前準備回：分野（業界）の動向、基本知識など

【事前学習】：MoodleにUpされている資料をしっかりと読んで参加すること

【事後学習】：授業で配布された資料を復習して完全に自分のものにしておくこと

### 第3回：Part 1：外部講師A（ベンチャー／アントレプレナーの講師）

【事前学習】：MoodleにUpされている資料をしっかりと読んで参加すること、指示された調査をしておくこと

【事後学習】：授業で配布された資料を復習して完全に自分のものにしておくこと

### 第4回：Part 1：外部講師A 立案（1）Ideation 1：ニーズ、トレンド、マーケット

【事前学習】：各自、立案をしっかりと準備して授業に参加すること、指示された調査をしておくこと

【事後学習】：授業でおこなった活動をしっかりと振り返り、完全に自分のものにしておくこと

### 第5回：Part 1：立案（2）Ideation 2：事業素案 Ver.01 の発表、質疑応答

【事前学習】：各自、立案をしっかりと準備して授業に参加すること、素案を作成しておくこと

【事後学習】：授業でおこなった活動をしっかりと振り返り、完全に自分のものにしておくこと

### 第6回：Part 2：事前準備 外部講師のテーマに合わせた事前準備回：分野（業界）の動向、基本知識など

【事前学習】：MoodleにUpされている資料をしっかりと読んで参加すること

【事後学習】：授業で配布された資料を復習して完全に自分のものにしておくこと

### 第7回：Part 2：外部講師B（NPO、第二創業、ベンチャー／アントレプレナー講師）

【事前学習】：MoodleにUpされている資料をしっかりと読んで参加すること、指示された調査をしておくこと

【事後学習】：授業で配布された資料を復習して完全に自分のものにしておくこと

### 第8回：Part 2：外部講師B 立案（1）Ideation 1：社会課題への切り口発見 or ニーズ、トレンド、マーケット

【事前学習】：各自、立案をしっかりと準備して授業に参加すること、指示された調査をしておくこと

[事後学習] : 授業でおこなった活動をしっかり振り返り、完全に自分のものにしておくこと

第9回 : Part 2: 立案 (2) Ideation 2: 解決策素案/事業素案 Ver.01 の発表、質疑応答

[事前学習] : 各自、立案をしっかり準備して授業に参加すること、素案を作成しておくこと

[事後学習] : 授業でおこなった活動をしっかり振り返り、完全に自分のものにしておくこと

第10回 : Active Reading (1) 本の半分の内容に関してGroupで様々な角度から議論を行う

[事前学習] : 指定された本をしっかり読んで参加すること

[事後学習] : 授業でおこなった活動をしっかり振り返り、完全に自分のものにしておくこと

第11回 : Active Reading (2) 本の残りの半分の内容に関してGroupで様々な角度から議論を行う

[事前学習] : 指定された本をしっかり読んで参加すること

[事後学習] : 授業でおこなった活動をしっかり振り返り、完全に自分のものにしておくこと

第12回 : Active Reading (3) Groupで解決してみたい課題を設定する (Research Question)

[事前学習] : 各自、取り組んでみたい課題を考えて参加すること

[事後学習] : 授業でおこなった活動をしっかり振り返り、完全に自分のものにしておくこと

第13回 : Active Reading (4) Groupで設定した課題をビジネスでの解決方法を模索する

[事前学習] : 先週の授業で決めた課題解決のためのビジネス企画を考えて参加すること

[事後学習] : 授業でおこなった活動をしっかり振り返り、完全に自分のものにしておくこと

第14回 : Active Reading (5) Group発表

[事前学習] : Group発表の準備をして参加すること

[事後学習] : 授業でおこなった活動をしっかり振り返り、完全に自分のものにしておくこと

第15回 : まとめ 総括: Part1とPart2についてのVer.02の発表

[事前学習] : 各、Groupは最終発表 (Ver.02) を準備して参加すること

[事後学習] : 今まで、授業でおこなった活動をしっかり振り返り、完全に自分のものにしておくこと

\*\*演習の進捗状況によっては、若干の内容変更があると思います\*\*

#### 授業の到達目標/Expected outcome

##### 基本目標

ブレインストーミングの技法を身につけ、アイデアを説明できるようになること (発想力)

書物から本質を読み取ることができるようになること。(読む能力)

自分の意見を持って議論することができるようになること。(聞く・話す能力)

新しい思考ができるようになること。(Innovation能力)

論点をまとめ異なる意見を収束させることができるようになること。(Communication能力)

##### 最終目標

世界や日本の経済社会の動向を把握し、分析できる十分な知識と教養を身につけること

社会を論理的かつ多様な視点からみることができるようになることを身につけること

社会の問題をビジネスの視点から解決する能力を身につけること

#### 身につく資質・能力/Competencies to be attained

思考力

幅広い教養

#### 履修上の注意/Special notes, cautions

演習での無断欠席は厳禁です。

欠席する場合、必ず事前に連絡をしてください。

#### 評価方法/Evaluation

事業素案Part 1 (30 %), 事業素案Part 2 (30 %), Active ReadingのGroup Work (40 %)

\*\* 出席回数が全講義の2/3以上ない場合、評価は「/ (出席日数不足)」とする \*\*

#### 教材/Text and materials

授業内で適宜指示する

**質問や相談の方法／Instructor contact**

沈 政郁

研究室：第4研究室棟 202号

オフィスアワー：木曜日お昼休みと4限（15：00～16：15、メールでの事前連絡が望ましい）

連絡先：初回配布の資料に記載するメールアドレス

メールでの質問を積極的に活用して下さい。

中谷 真憲

連絡先はムードル記載のメールアドレス

**その他／Others**

行動しない限り、何も起こりません。

アントレプレナーとして旅たつことを意識して挑戦しましょう！



科目名	アントレプレナーシップ演習B				
英語科目		ナンバリング	GHeps202		
開講期	秋学期集中	開講学部等	共通教育科目	配当年次	2年次
教員名	西田 貴明, 水口 充	単位数	2単位		

#### 授業概要／Course outline

地域社会におけるさまざまな課題やIT 技術とビジネスを想定したテーマに対して、企業など学外の様々な主体の協力を得ながら、グループによる課題解決活動を実施し、総合的な課題解決力を養う。さらに、情報収集・情報分析・企画立案までの事業構築プロセスを経験することにより、事業提案力を身につける。また、実社会において必要となる心構えやスキルを学ぶとともに、アントレプレナーとしての自身のキャリア形成に向けたビジョンの構築と行動力の養成を目指す。

#### 授業形態、授業方法等／Course form・type

##### 【授業形態】

対面授業

##### 【授業方法】

演習

・アクティブ・ラーニング授業（形態：ディスカッション、ディベート／グループワーク／プレゼンテーション／実習、フィールドワーク／PBL／反転授業）

社会課題、及びIT 技術とビジネスに関するテーマとした課題解決学習をおこなう。

・実務経験のある教員による授業

電機メーカー、シンクタンクの勤務経験のある教員が担当し、社会課題の解決やIT ビジネスの実施に必要な知識スキル等を教示する。

#### 授業内容・授業計画／Course description・plan

授業内容および授業計画は以下の通りである。

##### 第1回：ガイダンス

この授業での目標設定や授業スケジュールの確認の後、本授業の特徴と意義について概説する。

##### 第2、3 回：チームビルディング

チームを形成し、チームの活動目標を設定する。

##### 第4～9 回：チームで課題解決

社会課題に対するグループワークを行う。

##### 第10回：プレゼンテーションとフィードバック

第4～9回で実施したグループワークの内容を発表し参加者全員でディスカッションする。

##### 第11～14回：チームで課題解決

IT技術とビジネスに関するグループワークを行う。

##### 第15回：全体プレゼンテーションと総括

第11～14回で実施したグループワークの内容を発表し参加者全員でディスカッションする。

本授業の振り返りを行う。

#### 準備学習等（事前・事後学習）／Preparation and assignments

##### 第1～3回

【事前学習】地域社会や情報産業に関する課題について、関連授業の内容を振り返りつつ、書籍やインターネット等で調査し、自分の考えについて整理しておく。

【事後学習】各回の授業で学んだ考え方やスキル等を自らの活動において実践する。

##### 第4～15回

【事前学習】【事後学習】各回の授業では、前回から当日に至るまでの各自の活動、取り組みを報告しあい、チームとして次に何をすべきか、誰がどの役割を担うか議論することになる。授業時間外にて、授業にて決められた様々な活動を実践することが求められる。

事前事後学習には、毎回それぞれ1時間程度をかけておこなうこと。



<b>授業の到達目標／Expected outcome</b>	<p>課題発見力、発信力、市民としての社会的責任グループワーク、発表会での質疑応答、報告書の作成を通じて、自らの意欲と資質を向上させる。また、実社会の課題に関心を持ち主体的に取り組み、納得解を探求することで、問題解決に必要な知識の活用力や、創造的な思考力、他者と協働する力を養う。</p>
<b>身につく資質・能力／Competencies to be attained</b>	<p>思考力 幅広い教養</p>
<b>履修上の注意／Special notes, cautions</b>	<p>グループワーク、プレゼンテーション等、受講生同士の自主的な協働作業が含まれる。受講生には主体的な対話の実践や質問する姿勢を求める。それぞれの現場での実践を通じた学びのため、キャンパス外や講義時間外の活動が求められる可能性がある。履修希望者が多い場合は、選考をする場合がある。全日程の出席が必須であるため参加不可日がある場合は履修しないこと。 ※履修説明会は11月下旬～12月上旬を予定し、履修登録許可者の選考結果は年内の発表を予定しています。</p> <p>本科目は集中講義とし次の日程を予定している（いずれの日も1限目～5限目） Day 1: 2024年2月6日(火) 第1～5回 Day 2: 2024年2月10日(土) 第6～10回 Day 3: 2024年2月14日(水) 第11～15回 ※2023年度学年歴に応じて変更になる可能性があります。変更になった場合は秋学期の履修登録募集時までには確定した日程をお伝えします。</p>
<b>評価方法／Evaluation</b>	<p>授業や活動への参加態度40%、グループの発表30%、個人の成果報告30%を基本として総合的に判断する。</p>
<b>教材／Text and materials</b>	<p>必要に応じて授業内で配布する。</p>